

【兵庫県 宍粟市】

Ⅰ人Ⅰ台端末の利活用に係る計画

1. Ⅰ人Ⅰ台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。

Ⅰ人Ⅰ台端末の活用により、子ども達が、主体的・対話的で深い学びにより基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、さらに思考力・判断力・表現力を育み、学習調整により粘り強く課題に取り組む態度をより一層養いたい。

また、情報の正確性の判断、信頼できるコンテンツの判断など、情報モラル、情報活用能力の向上を推進する。

2. GIGA 第Ⅰ期の総括

本市では令和2年度に学習者用端末をⅠ人Ⅰ台となるよう整備を行った。

また、各校の基幹ネットワーク機器及び普通教室・特別支援学級・特別教室等における有線・無線 LAN 環境を整備し、学校内の大容量の通信ネットワークの構築を行った。

さらに、協働学習ソフトやドリルソフトを導入し、充実したデジタル教材を提供している。また、電子黒板の試験導入を行い、情報機器の拡充を予定している。

教職員の積極的な利活用により、毎年学習用端末及びデジタル教材の活用頻度が向上しており、学習用端末及びデジタル教材を有効に活用できたと言える。

課題としては、教職員間での利活用の差が発生しており、市内全体の底上げが必要である。

また、ネットワーク障害や、端末の故障等により学びが阻害されることがあるため、迅速な対応ができるように準備しておく必要があるとともに、老朽化した機器等は適宜適正に更新し、継続的に整備を行う必要があると考えている。

3. Ⅰ人Ⅰ台端末の利活用方策

GIGA 第Ⅰ期においてⅠ人Ⅰ台端末の整備を行い、現在では学習面において必要不可欠なものとなっている。

GIGA 第Ⅱ期では機器の更新を端末整備・更新計画のとおり行い、Ⅰ人Ⅰ台端末の積極的活用をさらに推進し、「個別最適な学び・協働的な学びの充実」を図る。

また、一人一人の教職員が ICT 活用の目的を理解し、ICT 活用指導力が向上するよう、デジタル教科書や授業支援ソフトなど、ICT 活用に関する研修等を行い教職員のスキルアップに繋げる。